

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(火)・六日(水)

午前九時半・午後一時半より

※六日は午前のみ

四日(月・祝)午後二時より

子ども報恩講・仏婦報恩講



今号の法語

当たり前を

手放すと

感謝が

生まれる



内容
・二年ぶりの報恩講 四日は子ども報恩講
・今夏のお寺は子ども達で賑わいました
・千夏のきときと日記
・住職コラム
・鐘楼堂の修復に向けて



八月下旬の十日間、若坊守が京都へ研修に行っていました。若坊守の不在中、子どもの世話は私が担当。保育園の準備に洗濯、風呂、寝かせるまで(こちらが先に寝ていたかも)、私にとっては大忙し。坊守のおかげでご飯の準備は助かったのですが、家事の大変さを実感したことでした。

普段は若坊守がほとんどやってくれるので、私は気まま。都合の良いところだけ手伝って、後はやってくれて「当たり前」、なんて思っていたらバチが当たりますよね(汗)。

いつもの「当たり前」から離れ、見えてくる感謝の気持ち。逆に言えば、普段は様々なものに支えられているにも関わらず、それが見えていないのが私たちなのかもしれません。

おかげ様を見つめ直す「報恩講」。是非お参りくださいね。

子供も皆で仏さまにお勤めします



今年、子ども・仏婦報恩
六日午前までの予定です。
お寺の行事は、何よりも門
徒さん方のご協力があつてこ
そです。仏具みがきや境内清
掃の準備に始まり、当日の運
営、片付けに至るまで、いつも
本当にありがとうございます。
肝心のお勤め・法座も、お参
りくださる方がおつてくださ
るからこそ成り立っています。
ぜひご縁ある方々をお誘い
いただきお参りください。皆
でお待ちしております！

二年ぶりの報恩講
四日は子ども・仏婦報恩講
いよいよ報恩講の時期がやっ
てきました。昨年は前坊守の
葬儀でやむを得ず中止とな
りましたが、報恩講は浄土真
宗で一番大切に行っている法要
です。今年こそ皆さんと共に
お迎えしたく思います。
講を祝日にあたる四日午後
としました。まだ試行錯誤で
すが、休日に合わせることで
少しでも多くの子どもたちが
お参りしてくれればと思つて
います。
いつもの報恩講は、五日から
六日午前までの予定です。
お寺の行事は、何よりも門
徒さん方のご協力があつてこ
そです。仏具みがきや境内清
掃の準備に始まり、当日の運
営、片付けに至るまで、いつも
本当にありがとうございます。
肝心のお勤め・法座も、お参
りくださる方がおつてくださ
るからこそ成り立っています。
ぜひご縁ある方々をお誘い
いただきお参りください。皆
でお待ちしております！

今夏のお寺は
子ども達で賑わいました
今年の夏は、十二年ぶりに
広済寺で五位組夏休み子ども
も大会が開かれました。あり
がたいことに五〇名の子ども
たちが参加くださり、大変賑
やかな時間となりました。オ
リジナルピザ作りも大成功。
子どもたちの元気な声、笑顔
が何よりもうれしかったです。
また広済寺には、夏休み中
は笹川地区の小学生たちがラ
ジオ体操に集まります。勉
強・お経のお勤め・掃除もす
るので、子どもにとっては大変
かと思いますが、今年も事故
なく無事に過ごせたことが何
より。今年は小学生十二人で
すので、毎朝ワイワイとして
おりました。
この笹川の子どもたちは、お



夏休み子ども大会の様子

盆明けには毎年お墓の掃除を
手伝つてくれています。花など
が腐り、臭いもきついのですが、
皆でやり遂げる姿はいつも微
笑ましく、また頼もしく思い
ます。お寺でのスイカ割りや
バーベキューも子どもたちの楽
しい思い出になってくれれば。
お寺は子どもたちにも支え
てもらっています。

千夏ちなつのきときと日記

八月二十日から二十九日の十日間、京都市桂にある西山別院の研修に行ってきました。西山別院は得度(僧侶になること)の研修以来で久しぶりでした。随分と時が経ちましたが、当時の思いは今でも大切にしています。

遡ること、僧侶にならせていただいたのは、二〇一七年十二月。

翌年の春に退職し、僧侶として月忌参りでご門徒さんの



お宅へ伺うことが増え、お話しする機会もたくさんいただきました。お話のくようになりました。お話の中でご門徒さんから質問や悩みも多く聞かせていただくようになる一方で、その質問の答えが違っていかないか、悩みに寄り添えていないのではないか、自問自答する日々でした。そのような日々が続く、世の中はコロナ禍へ。コロナ禍では『学び直し』という言葉が流行っていました。私もこの機会に学び直しがしたいと中央仏教学院の通信教育(三年)を始めたのです。そして通信教育もなんとか修了し、今回の研修に行くことができるようになりました。

私を若坊守として家族やご門徒さんが支えてくださっていることが日々の力となつていました。また、この『きときと日記』を読んでくださっている声を聞くたび、仏様・親鸞聖人のお言葉等を間違ってお伝えしてないかという不安も感じていました。

まだまだ勉強不足ですが、こ

住職コラム

ようやく真夏日も終わり早や十月半ばになりました。

朝顔が大きく元気よく咲いており、今年の夏は長いなあと思つていましたが、先日より気温がぐーんと下がった途端に、ずしーんと冷え込んで今は『秋冷』と言ってもいいくらいに

周囲の風の様子も樹木の様子も変わりました。

れからも浄土真宗のみ教えが皆様に届きますように私なりに精一杯努めて参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



お正月にお配りする『法語カレンダー』の六月の法語に、「いい人 いい雨 いい天気 みな私中心」とあります。また八月の法語には「私たちの人生の争いは いつも善と善との争いだ」とありました。

なんともはや申し訳ないことですね。しかしありがたいことだと思います。



なまんだぶ 合掌

お知らせ

令和六年

おみがき

十月二十三日(水)

午前八時半より

報恩講前日準備

十一月四日(月・祝)

午前八時半より

子ども報恩講

十一月四日(月・祝)

午後二時より

仏教婦人会報恩講

十一月四日(月・祝)

午後四時より

御講師

五位組 教願寺

岡西 好持 師

報恩講

十一月五日(火)

午前九時半より

午後一時半より

十一月六日(水)

午前九時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳 師

鐘楼堂の修復に向けて

先月の護持委員会にて、広濟寺の鐘楼堂を修復することになりました。

記録によれば、この鐘楼堂は明治十年(一八七七年)に建てられたとのこと。その後やはり修復はされてきたと思いますが、今年の地震もあつてか、調べてみると少し傾いていました。基礎から直す必要があるとのことです。

大きな工事になりますが、

※月参りについて

十一月四日・五日・六日の

三日間はお休みさせていただきます。

ただきます。



編集後記

夏の終わりに、初めてのキャンプに行きました。もう二年も前にテントを買ったのですが、おうちキャンプ(家の中でテントを張る)に留まりつづけ、子供からは七夕の短冊に「キャンプに行きたい」と書かされる始末。

思い切つて夕方の五時半過ぎに出発し、砺波市のキャンプ場へ。平日でまだ暑い夏だったためか、キャンプ場には私たちだけ。おかげで人目を気にせずドタバタできました。

普段と違い、エアコンはなく、電気もない。かすかな灯りがうれしく感じる。

明朝これまたドタバタしながら、八時には帰宅しました。シャワーのありがたいこと。やっぱり家はいいものですね。

